

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	しもなだ運動公園管理運営事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	543
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	小寺 卓也
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民「しもなだ運動公園(グラウンド・体育館)利用者」			
根拠法令等	伊予市公園条例			
事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容	グラウンド・体育館の体育施設及び付属施設の維持管理・修繕等を行なうことにより、適正に施設管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地域事務所と連携し、施設の維持管理を適切に行い、常に良好な状態で施設が使用できるよう努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	5,440	6,233	2,799	5,597
	人件費	1,627	1,590	1,590	1,590
	合計	0	7,823	4,389	7,187
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	1,590	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	994	600	0	1,334
	一般財源	6,073	7,223	4,389	5,853

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
光熱水費	千円	1376	1620	715	1471
修繕費	千円	1103	922	100	852
委託料	千円	2447	2716	466	2386
有料施設利用者数	人	33342	33342	11086	24814

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		6,406	6,400	6,400	6,400	

成果指標				
成果指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数＝成果指標			
指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりとして、有料施設の利用者数を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	1.01	1.01	0	0
実 績	1.12	0.83	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	ふたみ潮風ふれあい公園の指定管理者制度導入に伴い、現在しもなだ運動公園を管理委託している双海施設管理センター及び双海人材センター(ふたみ潮風ふれあい公園においても管理委託)を継続するか検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	公の施設の管理・運営を民間企業やNPO法人、市民グループなどに委託することし、管理・運営の権限を持たせることで利用者の利便性の向上や経費削減による財政の負担軽減が期待されるので、他施設と同様に指定管理者制度を導入を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	課題認識の言葉表現を訂正すること。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題